



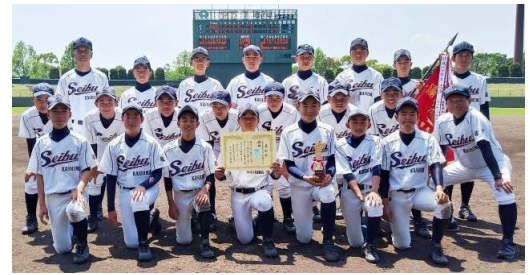
かしまホットニュース

鹿島市の最近の話題や気になる話題をご紹介します。No.34

市のホームページでもご覧いただけます

1. 県中学軟式野球大会で鹿島西部中野球部が優勝！

鹿島西部中が、第33回佐賀県中学軟式野球大会の決勝戦で鳥栖中を延長の末3-1で破り、見事、優勝の栄冠に輝きました。西部中は、6月29、30日に宮崎県で開催される九州大会に出場されます。今大会では、エースナンバーを背負う金澤投手が故障で登板出来ない事態でしたが、左腕の石橋投手が全5試合に完投して、優勝まで導きました。九州大会での活躍を祈念しています。



優勝した鹿島西部中野球部

2. 佐賀県遺産に鹿島市の2件が認定！

鹿島市浜町の「永溪山泰智寺(えいけいざんたいちじ)」と七浦音成の「中村與右衛門屋敷(なかむらようえもんやしき)」が県遺産に認定されました。県遺産は、地域の象徴的な建造物や美しい景観地区の保存、活用を支援する目的で認定されます。永溪山泰智寺は、鹿島鍋島家の菩提寺で墓所には、歴代藩主が祭られています。中村與右衛門屋敷は、七浦村長を務めた中村家10代目の與右衛門が江戸時代の屋敷の形を保ったまま建て替えたもので、茅葺の茶室も残っています。地域の皆様や関係者の皆様が、地域のシンボリック的存在として、先人から受け継ぎ、保存・活用されてきたことにより、今回の認定に至ったものだと思います。



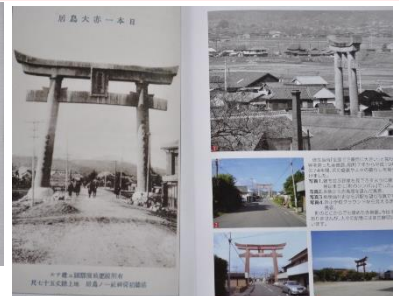
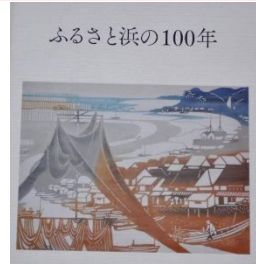
泰智寺(浜町)



中村屋敷(七浦音成)

3. 「ふるさと浜の100年」記念誌発行！

鹿島市の浜町は、「八本木村」から「浜町」へと地名が変更されてから昨年100年を迎えました。これを機に、地元の皆様が、地域の歩みを知ってもらおうと「ふるさと浜の100年」と題して記念誌を今回発行されました。記念誌は、100年を振り返る年表やまちなみ保存への取組、浜町の偉人の紹介、浜の大鳥居など懐かしい写真が多数掲載されており、浜町の歴史や文化がわかりやすい本となっています。



記念誌の表紙と写真

4. 鹿島の魅力を伝える漫画を発行！

この度、鹿島市の魅力を誰にでもわかりやすく伝えられる漫画「鹿島・ぶらり・NAVI」を発行しました。この漫画は、2人の主人公が、鹿島を旅しながら豊富な地域資源に触れて、その魅力を紹介していくストーリーとなっています。作成者は、主人公として登場している2人の市外出身者です。1人は、吉野ヶ里町出身で財務省から地方創生担当理事として鹿島市に出向している納塚真琴さん、もう1人は、佐賀市出身で、佐賀銀行鹿島支店長を経て、本年4月からは鹿島機械工業(株)で管理部統括部長として勤務されている千綿明直さんです。漫画は、イベント等で無料配布するほか、子どもたちの郷土愛の醸成のためにも活用されます。



漫画の表紙と一場面

5. 大河ドラマ「いだてん」トークツアーin佐賀県鹿島市大盛況！

5月19日、鹿島市の祐徳稲荷神社参集殿で、大河ドラマ「いだてん」主演の中村勘九郎(金栗四三役)さんや古舘寛治(可児徳役)さん、久保勝史(茂木善作役)さんを迎えて、トークツアーを開催しました。トークツアーは、金栗四三が箱根駅伝創設者で、鹿島市は箱根駅伝大学合宿地という箱根駅伝つながりということが縁で実現したものです。当日は、県内外から、遠くは関東から実に約750人ものお客さまに来ていただき、会場は熱気にあふれ、立ち見が出るほどの大盛況でした。お客様には、鹿島ファンになっていただくように、市内を巡っていただけるようなパンフレットや門前商店街のグルメマップなどを配布し、鹿島の魅力を伝えられるようなおもてなしをしました。これを機に、また鹿島市に来ていただけることを期待します。



トークツアーに出演した中村勘九郎さん(中央)古舘寛治さん(左)、久保勝史さん(右)

鹿島は色々なことに取り組んでいます。全国の方に鹿島を知ってもらうために、みなさんも、SNSで広めてください。

